

戦国仏教と京都

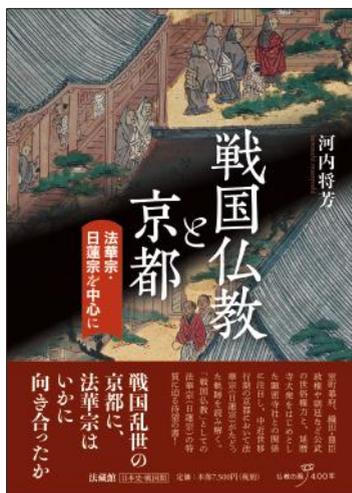
法華宗・日蓮宗を中心に

かわうち まさよし

河内将芳著

▼A5判・上製カバー・372頁・本体七、五〇〇円十税

2019年9月刊行



公武の世俗権力や顕密寺社との関係から、戦国期京都で法華宗(日蓮宗)が辿った変化の軌跡と、「戦国仏教」としての同宗の特質に迫る。

【目次】

序

I 師僧と檀徒

- 第一章 戦国期・近世初頭における本阿弥一類の法華信仰
- 補論 近衛家「奥御所」の臨終
- 第二章 戦国末期畿内における一法華宗僧の動向
- 日珽「己行記」を中心に—
- 第三章 「法華宗の宗徒」松永久秀

II 寺地と京都

- 第一章 天文法華の乱後、法華宗京都還住に関する考察——近江六角氏との関係を中心に—
- 第二章 中世本能寺の寺地と立地について
- 成立から本能寺の変まで—
- 補論 中世本能寺の弘通所敷地について
- 第三章 中世妙顕寺の寺地と立地について
- 補論 荒木村重女房衆と妙顕寺の「ひろ籠」

III 勸進と経済

- 第一章 「天正四年の洛中勸進」再考——救済、勸進、経済
- 第二章 勸進と法華宗——新在家を中心に
- 第三章 「洛中勸進記録」について——中世京都における「都市文書」との関連において

IV 東山大仏と京都

- 第一章 東山大仏の歴史的意義

終

成稿・原題一覧／あとがき／索引

◆著者略歴

一九六三年大阪市に生まれる。一九八七年京都府立大学文学部卒業。一九九九年京都大学大学院博士課程修了。京都大学博士(人間・環境学)。一九八七年甲南中学・高等学校教諭。二〇〇一年京都造形芸術大学芸術学部専任講師。二〇〇三年同助教。二〇〇五年奈良大学文学部助教。二〇〇七年同准教授。二〇一〇年同教授。現在に至る。主な著書に、『中世京都の民衆と社会』(思文閣出版、二〇〇〇年)、『中世京都の都市と宗教』(思文閣出版、二〇〇六年)、『秀吉の大仏造立』(法藏館、二〇〇八年)、『祇園祭の中世—室町・戦国期を中心に—』(思文閣出版、二〇一二年)、『日蓮宗と戦国京都』(淡交社、二〇一三年)などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
河内将芳著	
法藏館	
本体七、五〇〇円十税	
戦国仏教と京都	
—法華宗・日蓮宗を中心に—	
ISBN: 978-4-8318-6252-5 C3021	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・戦国期